

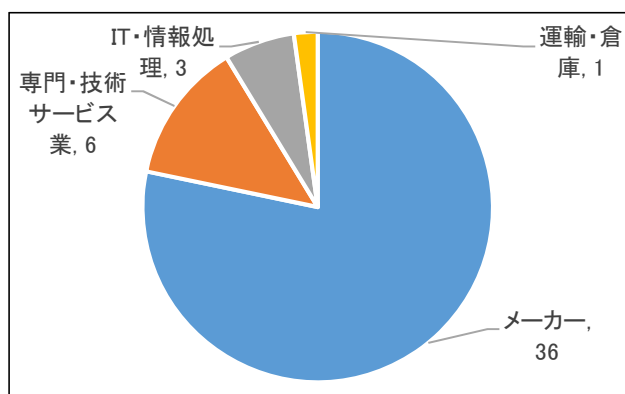
## 2020年度 就職先への学修成果に関するアンケート調査結果

- 調査目的： 本学の就職先となる企業に対して、卒業生の学修成果に関するアンケート調査を行い、教育活動の改善に役立てる。
- 調査対象： 本学に求人があった企業（回答：46社）
- 調査方法： Webアンケート
 

（ 本学の合同企業説明会（業者主催、会場は本学）の募集案内の中で、参加を希望する企業に対してアンケート回答にご協力いただいた。（約60社に発送） ）
- 調査時期： 2020年9～10月

### 1-1.企業属性（大業種）

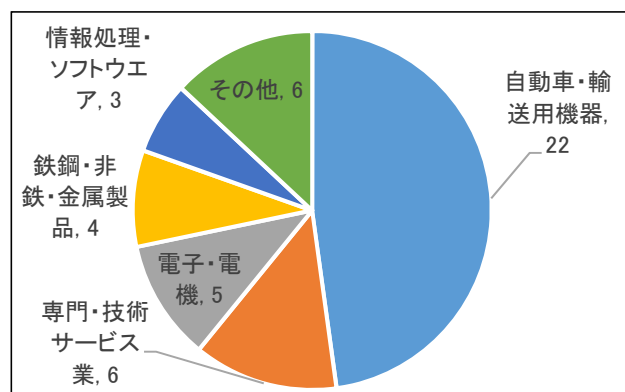
メーカー	36
専門・技術サービス業	6
IT・情報処理	3
運輸・倉庫	1
合計	46



【コメント】 約8割がメーカーとなっている。

### 1-2.企業属性（中業種）

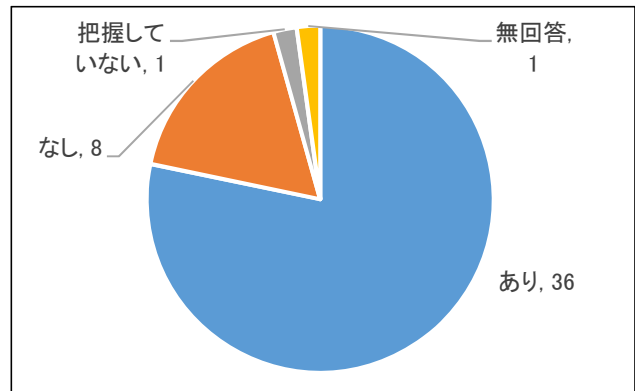
自動車・輸送用機器	22
専門・技術サービス業	6
電子・電機	5
鉄鋼・非鉄・金属製品	4
情報処理・ソフトウェア	3
その他	6
合計	46



【コメント】 約半数が自動車関連で、他に技術サービス、電気電機、鉄鋼、IT関連など多岐に渡っている。

2-1.過去5年間の本学卒業生の採用実績

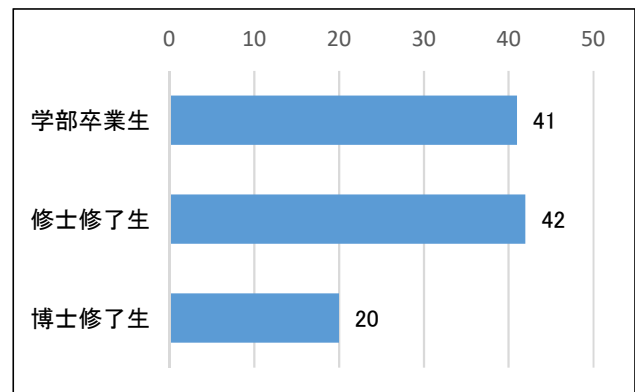
あり	36
なし	8
把握していない	1
無回答	1
合計	46



【コメント】 アンケート対象は本学に求人をお願いしている企業であるが、約8割が過去5年間に本学卒業生の採用実績があり、「就職先への学修成果調査アンケート」と位置付けることができる。

2-2.本学卒業生の求人区分（複数回答可）

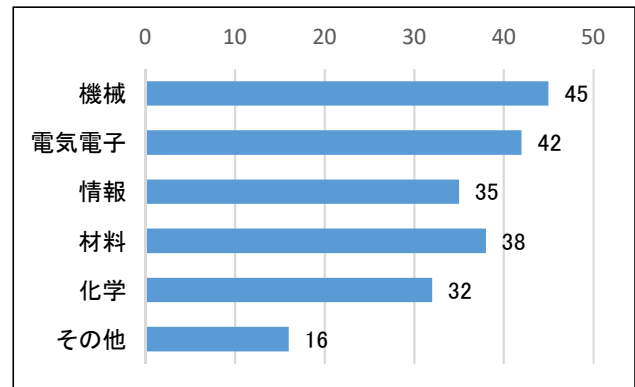
学部卒業生	41
修士修了生	42
博士修了生	20
延べ数	103



【コメント】 学部卒業生と修士修了生への求人が同等にある。博士修了生の採用ニーズも十分にある。

2-3.本学卒業生の求人分野（複数回答可）

機械	45
電気電子	42
情報	35
材料	38
化学	32
その他	16
延べ数	208

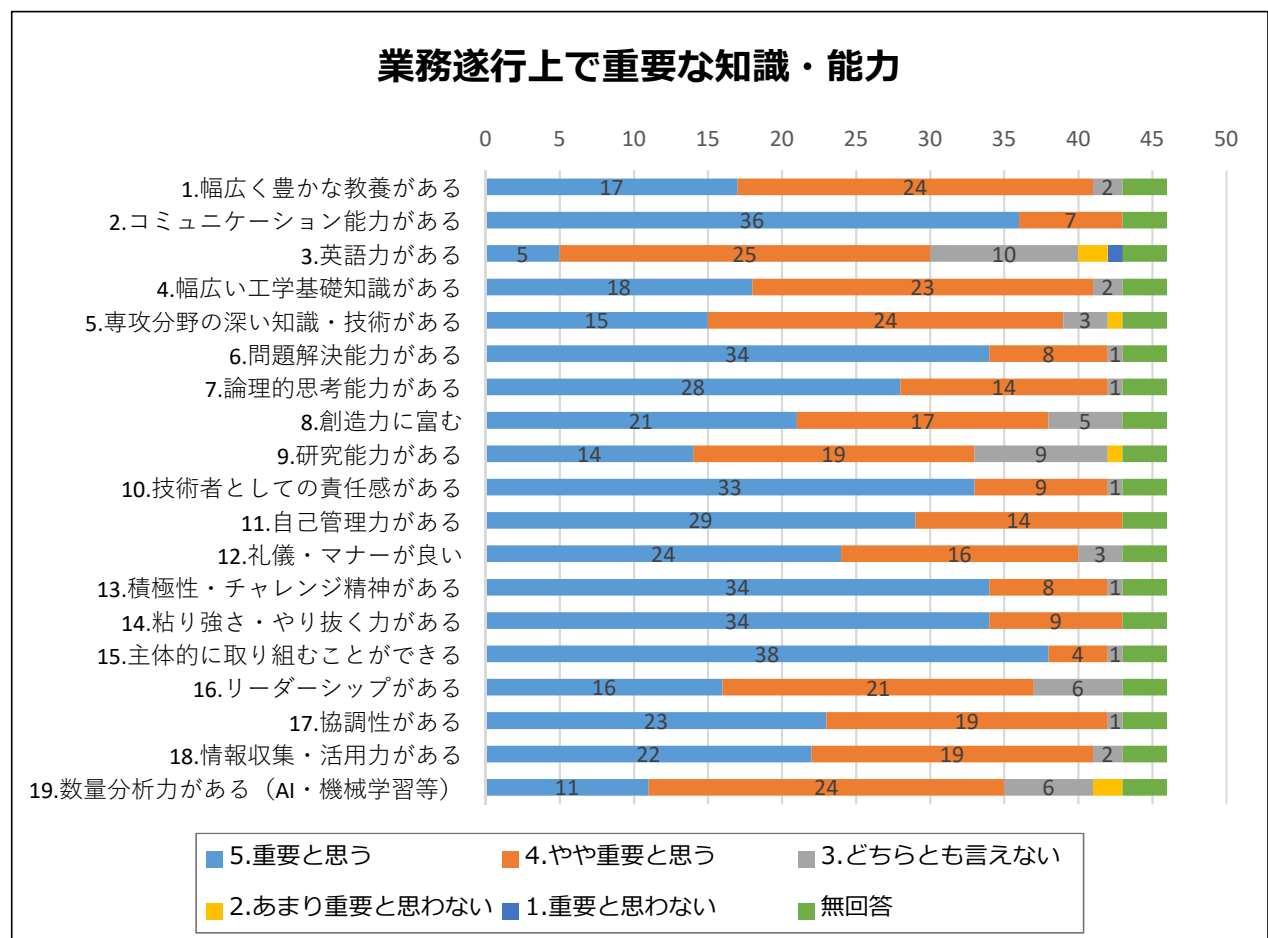


【コメント】 本学が対象としている教育研究分野に対して、万遍なく採用ニーズがある。

3-1.仕事を進めるうえで、どのような知識・能力が重要だとお考えですか。

(網掛けは平均点が4.7以上の項目)

	5.重要 と思う	4.やや 重要と 思う	3.どち らとも 言えな い	2.あま り重要 と思わ ない	1.重要 と思わ ない	無回答	合計	平均点
1.幅広く豊かな教養がある	17	24	2	0	0	3	46	4.3
2.コミュニケーション能力がある	36	7	0	0	0	3	46	4.8
3.英語力がある	5	25	10	2	1	3	46	3.7
4.幅広い工学基礎知識がある	18	23	2	0	0	3	46	4.4
5.専攻分野の深い知識・技術がある	15	24	3	1	0	3	46	4.2
6.問題解決能力がある	34	8	1	0	0	3	46	4.8
7.論理的思考能力がある	28	14	1	0	0	3	46	4.6
8.創造力に富む	21	17	5	0	0	3	46	4.4
9.研究能力がある	14	19	9	1	0	3	46	4.1
10.技術者としての責任感がある	33	9	1	0	0	3	46	4.7
11.自己管理能力がある	29	14	0	0	0	3	46	4.7
12.礼儀・マナーが良い	24	16	3	0	0	3	46	4.5
13.積極性・チャレンジ精神がある	34	8	1	0	0	3	46	4.8
14.粘り強さ・やり抜く力がある	34	9	0	0	0	3	46	4.8
15.主体的に取り組むことができる	38	4	1	0	0	3	46	4.9
16.リーダーシップがある	16	21	6	0	0	3	46	4.2
17.協調性がある	23	19	1	0	0	3	46	4.5
18.情報収集・活用力がある	22	19	2	0	0	3	46	4.5
19.数量分析力がある (AI・機械学習等)	11	24	6	2	0	3	46	4.0

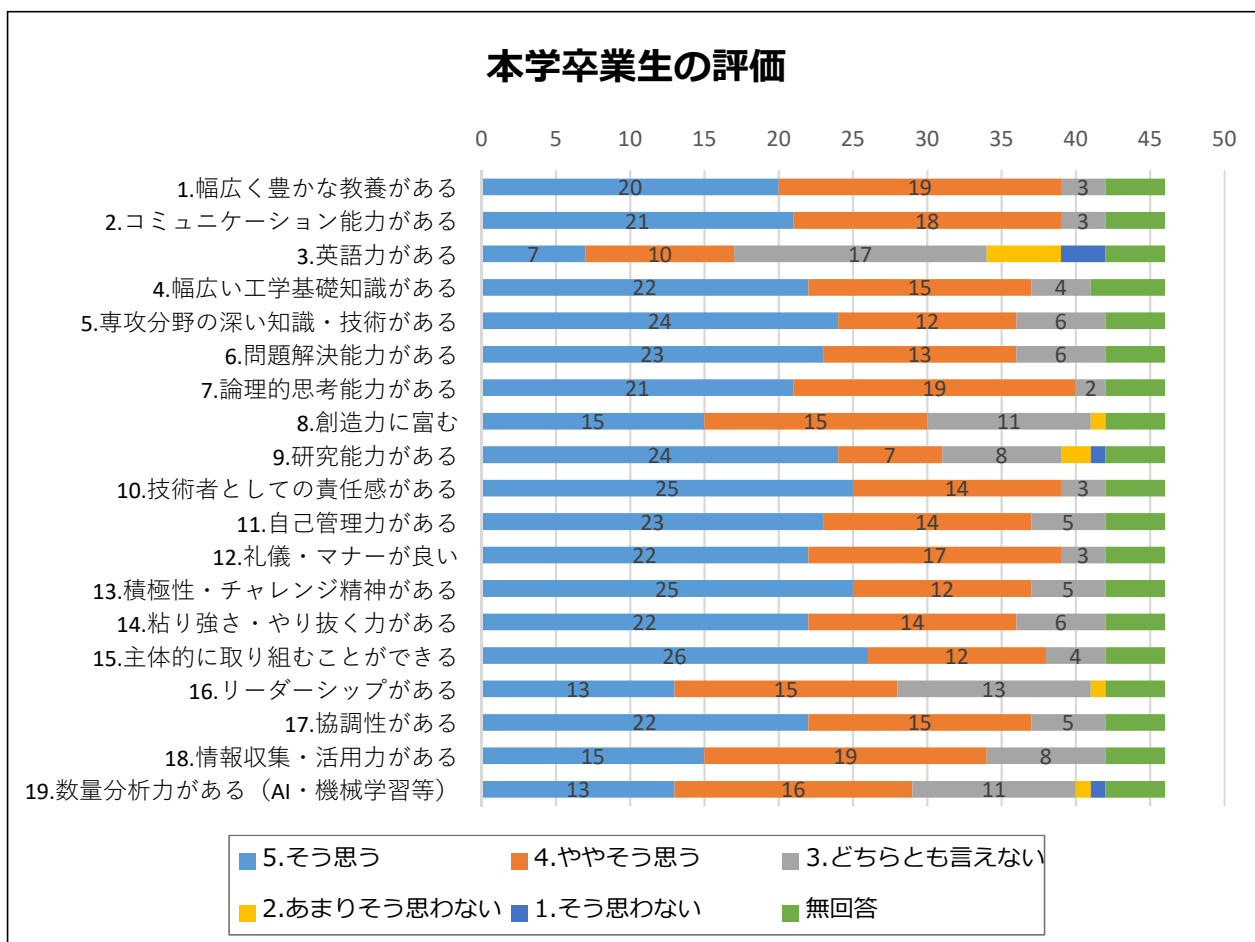


【分析】企業では、「コミュニケーション能力」「問題解決能力」「責任感」「積極性」「粘り強さ」「主体性」といった、いわゆる「社会人基礎力」に類する能力が重視される傾向にある。

3-2.本学卒業生をどのように評価して採用活動をしていますか。

(網掛けは平均点が4.5以上の項目)

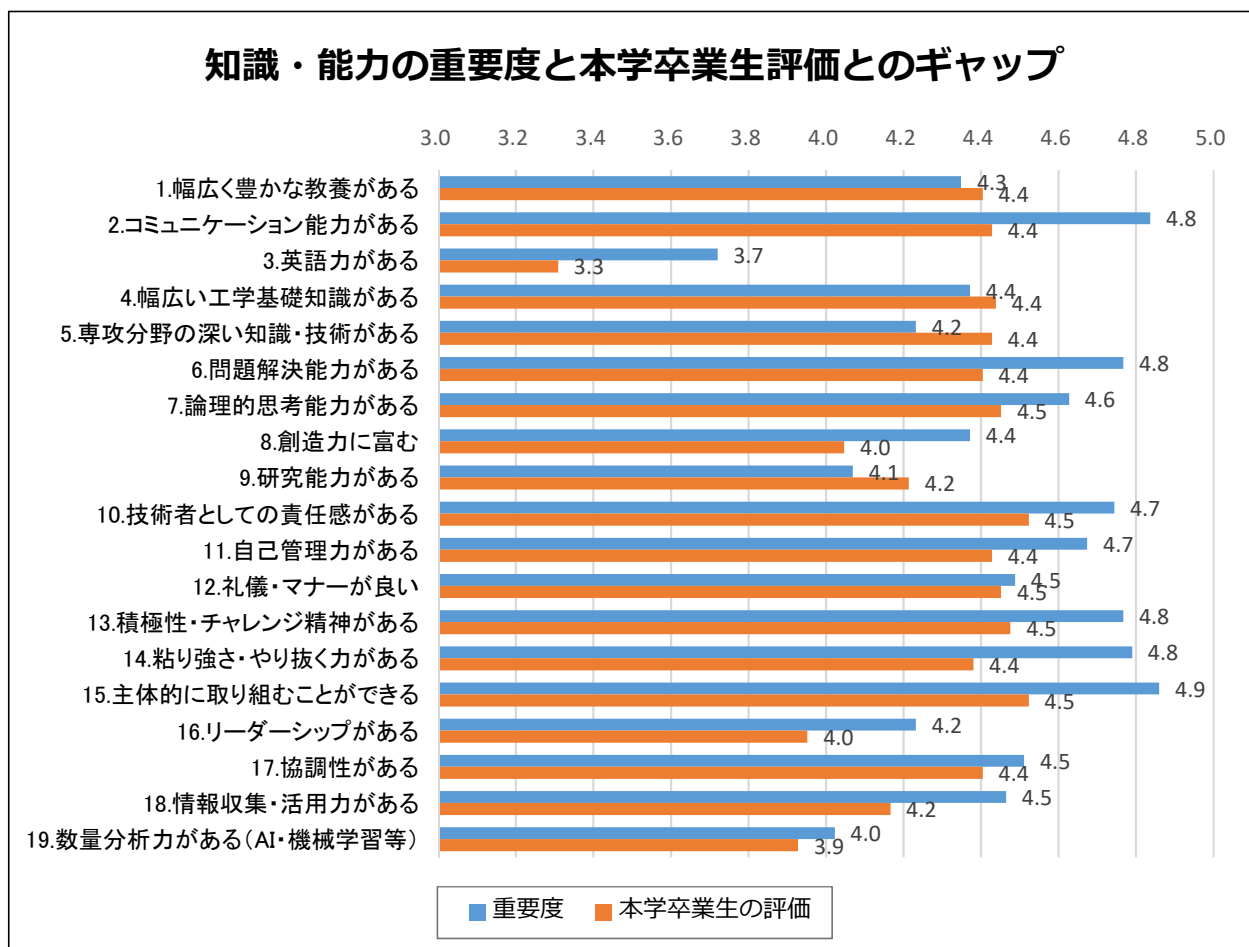
	5.そう 思う	4.やや そう思 う	3.どち らとも 言えな い	2.あま りそう 思わな い	1.そう 思わな い	無回答	合計	平均点
1.幅広く豊かな教養がある	20	19	3	0	0	4	46	4.4
2.コミュニケーション能力がある	21	18	3	0	0	4	46	4.4
3.英語力がある	7	10	17	5	3	4	46	3.3
4.幅広い工学基礎知識がある	22	15	4	0	0	5	46	4.4
5.専攻分野の深い知識・技術がある	24	12	6	0	0	4	46	4.4
6.問題解決能力がある	23	13	6	0	0	4	46	4.4
7.論理的思考能力がある	21	19	2	0	0	4	46	4.5
8.創造力に富む	15	15	11	1	0	4	46	4.0
9.研究能力がある	24	7	8	2	1	4	46	4.2
10.技術者としての責任感がある	25	14	3	0	0	4	46	4.5
11.自己管理能力がある	23	14	5	0	0	4	46	4.4
12.礼儀・マナーが良い	22	17	3	0	0	4	46	4.5
13.積極性・チャレンジ精神がある	25	12	5	0	0	4	46	4.5
14.粘り強さ・やり抜く力がある	22	14	6	0	0	4	46	4.4
15.主体的に取り組むことができる	26	12	4	0	0	4	46	4.5
16.リーダーシップがある	13	15	13	1	0	4	46	4.0
17.協調性がある	22	15	5	0	0	4	46	4.4
18.情報収集・活用力がある	15	19	8	0	0	4	46	4.2
19.数量分析力がある (AI・機械学習等)	13	16	11	1	1	4	46	3.9



【分析】本学の卒業生に対しては、「専攻分野の知識・技術」「問題解決能力」「研究能力」「責任感」「積極性」「主体性」といった知識・能力が評価されていると言える。

### 3-3.知識・能力の重要度と本学卒業生評価とのギャップ

	重要度	本学卒業生の評価	差異
1.幅広く豊かな教養がある	4.3	4.4	0.1
2.コミュニケーション能力がある	4.8	4.4	-0.4
3.英語力がある	3.7	3.3	-0.4
4.幅広い工学基礎知識がある	4.4	4.4	0.1
5.専攻分野の深い知識・技術がある	4.2	4.4	0.2
6.問題解決能力がある	4.8	4.4	-0.4
7.論理的思考能力がある	4.6	4.5	-0.2
8.創造力に富む	4.4	4.0	-0.3
9.研究能力がある	4.1	4.2	0.1
10.技術者としての責任感がある	4.7	4.5	-0.2
11.自己管理能力がある	4.7	4.4	-0.2
12.礼儀・マナーが良い	4.5	4.5	-0.0
13.積極性・チャレンジ精神がある	4.8	4.5	-0.3
14.粘り強さ・やり抜く力がある	4.8	4.4	-0.4
15.主体的に取り組むことができる	4.9	4.5	-0.3
16.リーダーシップがある	4.2	4.0	-0.3
17.協調性がある	4.5	4.4	-0.1
18.情報収集・活用力がある	4.5	4.2	-0.3
19.数量分析力がある(AI・機械学習等)	4.0	3.9	-0.1



【分析】「教養」「工学基礎知識」「専攻分野の知識・技術」「研究能力」について卒業生の評価が重要度を上回っており、本学の教育研究そのものが評価されていることが分かる。一方、学問以外のいわゆる「社会人基礎力」関連は本学卒業生の評価が重要度を下回っており、今後のさらなる改善が望まれる。